

令和 7 年 度
佐 賀 河 川 事 務 所 予 算 概 要

記者発表資料

令和 7 年 4 月
国 土 交 通 省 九 州 地 方 整 備 局
佐 賀 河 川 事 務 所

【問い合わせ先】

佐賀河川事務所 Tel) 0952-41-8801(代)

技 術 副 所 長 はら かずひさ (内線 204)
 原 和久

流域治水課長 たち しんご (内線 351)
 館 新 吾

佐賀河川事務所 HP (リンク先) : <https://www.qsr.mlit.go.jp/saga/>

佐賀河川事務所 令和7年度の事業費

1. 全体事業概要

国土交通省 九州地方整備局 佐賀河川事務所では、一級河川である嘉瀬川水系及び、筑後川水系の一部である城原川、佐賀江川、田手川（国管理区間）の改修や維持修繕・管理、嘉瀬川ダム・佐賀導水路の管理や城原川ダムの建設など、佐賀平野の一体的な治水・利水の管理及び機能強化の推進を図っています。

令和7年度も激甚化・頻発化する水災害に対し、引き続き、地域の皆様の生活や持続的な地域の経済活動の確保など、自然環境や賑わいの保全・創出も図りつつ各事業の推進を図ります。

2. 令和7年度予算

		(単位:百万円)		
予算区分・費目		令和7年度 当初	令和6年度 補正、推進費	令和6年度 当初
嘉瀬川	河川改修費	338	235	335
	河川維持修繕費	414	213	403
	総合水系環境整備事業費(嘉瀬川ダム)	1	10	21
	堰堤維持費(嘉瀬川ダム)	430	100	430
	計	1,183	558	1,189
筑後川	河川改修費	193	110	※1 -
	河川維持修繕費	271	202	※1 -
	堰堤維持費(佐賀導水路)	708	45	753
	堰堤改良事業費(佐賀導水路)	284	-	64
	河川総合開発事業費(城原川ダム)	1,121	396	1,084
	計	2,577	753	1,901
合計	河川改修費	531	345	335
	河川維持修繕費	686	415	403
	総合水系環境整備事業費	1	10	21
	堰堤維持費	1,138	145	1,183
	堰堤改良事業費	284	-	64
	河川総合開発事業費	1,121	396	1,084
	計	3,760	1,311	3,090

※1: 令和6年度当初予算について、事務所所管(城原川、佐賀江川、田手川)以外の予算も含んでいるため不記載としています。

※2: 本表は、工事諸費を含みません。

※3: 予算額は、百万円単位での丸め表示としています。

■事業概要

【佐賀県佐賀市大和町尼寺地先】

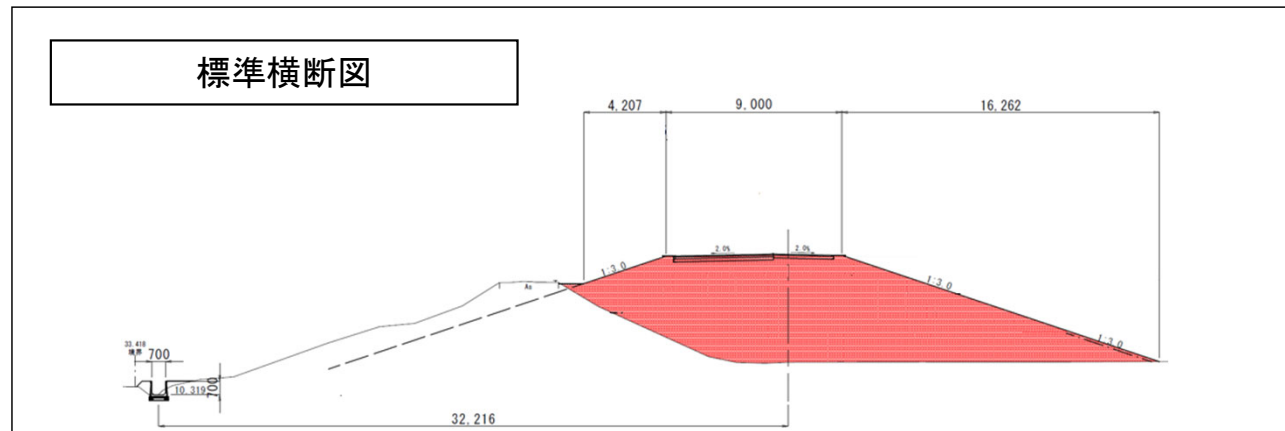
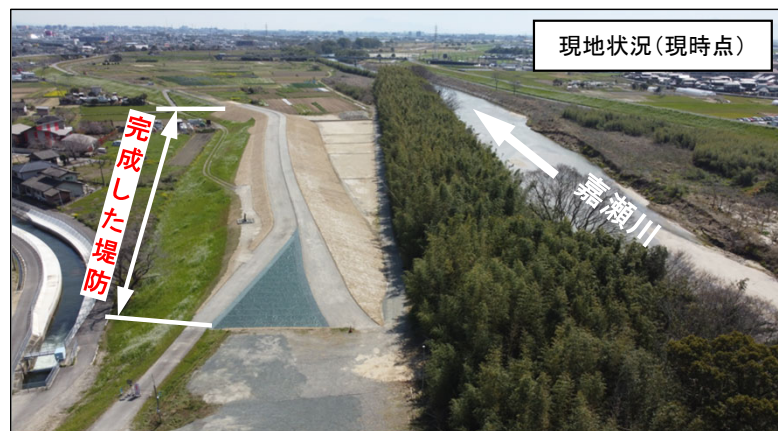
嘉瀬川水系は背後地に県都佐賀市を控えているにも関わらず、当該地点の流下能力は1 / 10程度であり、災害時には甚大な被害が懸念されるため、堤防高及び断面不足区間の堤防整備を行い、流下能力の向上を図るものです。

■事業内容

堤防整備を行うことにより流下能力の向上を図ります。

■令和7年度の予定

築堤・・・L=約50m



■事業概要

洪水時に越流した場合でも決壊しにくい「粘り強い河川堤防」を目指す方針が示され、橋梁等の影響を受け洪水時に水位が上昇しやすい区間において緊急的な対策を講じるため、洪水時に越流した場合でも決壊しにくい「粘り強い河川堤防」の整備を行うものです。

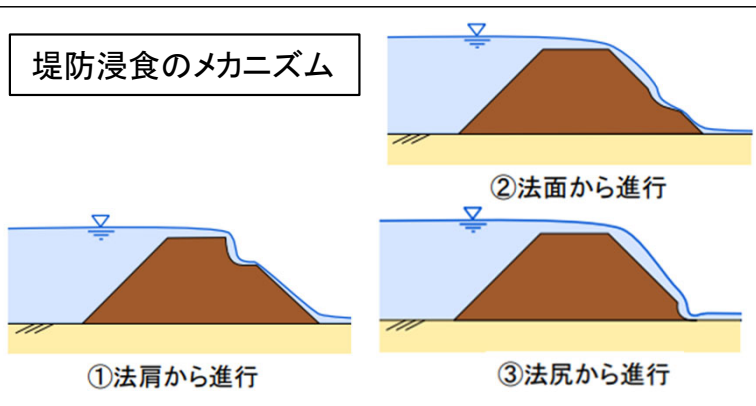
■事業内容

既設堤防の被覆を行い越流した場合でも決壊しにくい堤防を造成します。

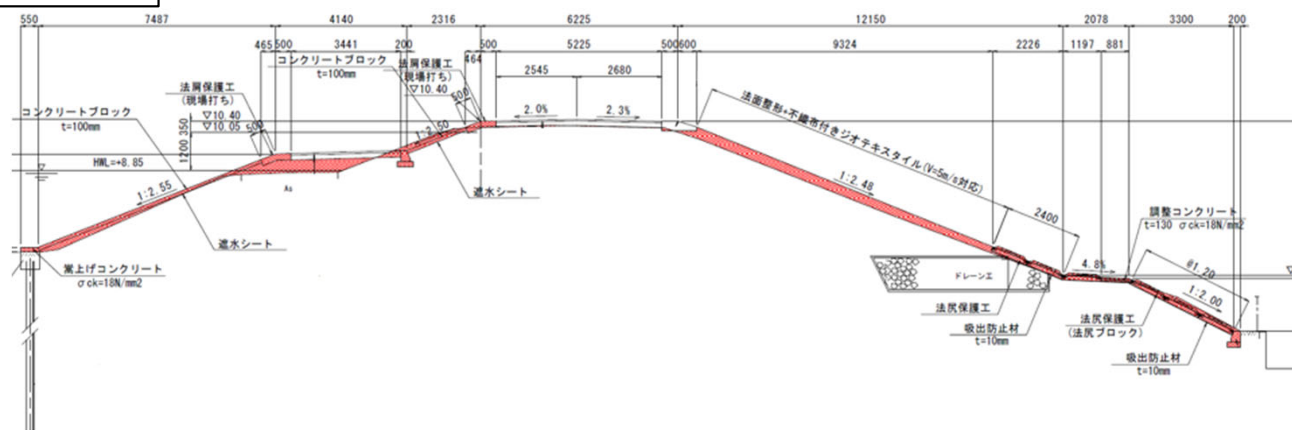
■令和7年度の予定

堤防強化 L=約80m

堤防浸食のメカニズム



標準横断図



位置図



【佐賀県小城市三日月町金田地先】



■事業概要

嘉瀬川の河口部は、国内最大の干満差を有する有明海の最奥部に位置しており、一部未施工となっている高潮堤防（川裏）を整備し、一連区間を完成させるものです。

【佐賀県佐賀市嘉瀬町十五地先】

■事業内容

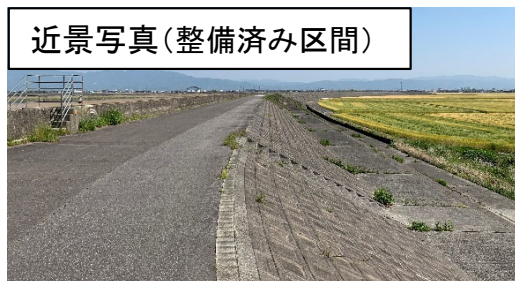
川裏の高潮対策を実施する事により治水安全度の向上を図ります。

■令和7年度の予定

高潮対策 L=約30m



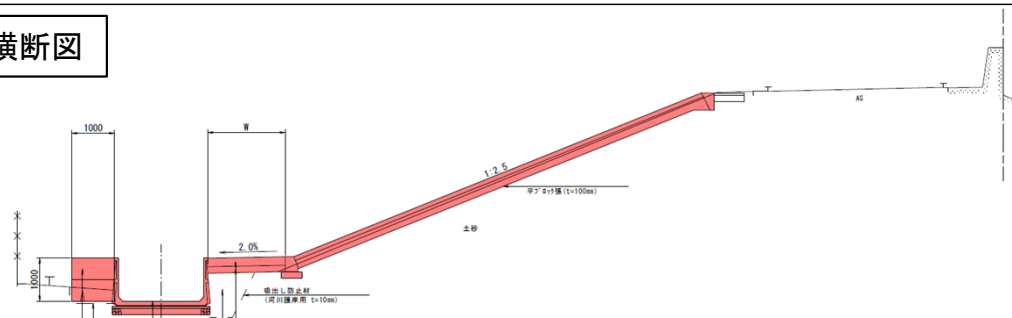
近景写真(整備済み区間)



近景写真(未整備区間)



標準横断面図



■事業概要

【佐賀県神崎市千代田町姉地先】

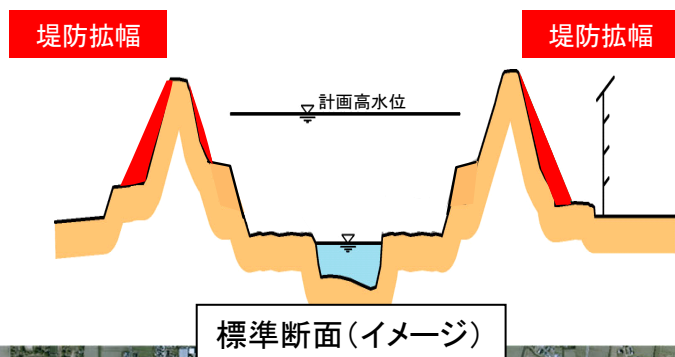
筑後川水系城原川は、近年「氾濫注意水位」を超える洪水が多数発生しており、特に平成21年7月及び平成22年7月、令和5年7月には、堤防の設計基準となる「計画高水位」を超える洪水の発生により、野越しからの越水、堤防の漏水や法崩れ等の被害が発生しました。また、佐賀平野は低平地であるとともに、城原川は天井川であり、ひとたび氾濫すると洪水が広範囲に広がるなど甚大な被害の発生が懸念されます。

■事業内容

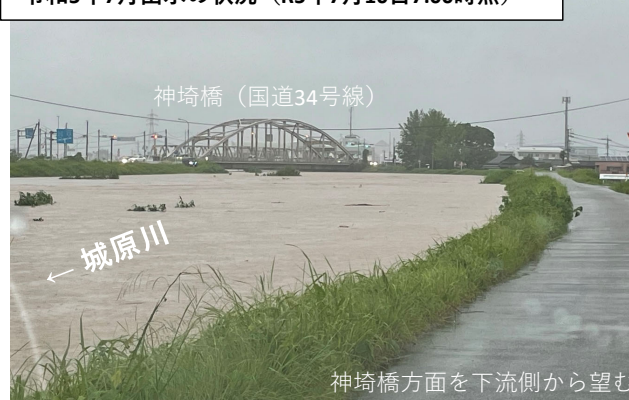
堤防を拡幅することにより水害に対する安全度の向上を図ります。

■令和7年度の予定

堤防拡幅・・・約 L=60m



令和5年7月出水の状況（R5年7月10日7:00時点）



位置図



河川の維持管理

事業の目的

佐賀河川事務所では、嘉瀬川水系の嘉瀬川、祇園川、及び筑後川水系の城原川、田手川、佐賀江川を管轄し、その堤防延長は約70km、樋管・水門・堰・排水機場等河川管理施設約60施設を管理しており、治水、利水、環境の保全・創出を目的として、河道、堤防、施設、流水、河川空間の管理を実施します。

事業の概要

- ①河道管理：土砂堆積や深掘れ、樹木繁茂などの河川の変化を把握し、治水能力が低下しないように河道を管理します。
- ②堤防管理：堤防は古くから築造され、質・強度ともに不均一のため、定期的に巡視や点検を行い、異常の早期発見に努めます。
- ③施設管理：洪水時に堰、水門、排水機場等の操作を実施するとともに、定期的な点検や補修を行い、確実に機能発揮できるよう施設を管理します。
- ④流水管理：安全で安定した水利用と環境を維持するため、河川流量や水質を監視します。また、河川にオイル等が流出した場合（水質事故）は、関係機関と連携し、速やかに回収します。
- ⑤空間管理：地域住民が安全・快適に利用できるように定期的に巡視し、状態監視を行います。また、環境維持のためゴミ拾いや外来種の駆除等を地域住民と連携して行います。

①河道管理

土砂堆積・樹木繁茂状況
河川が変化することで治水
能力低下

河川形状を定期的に計測して
変化を把握

樹木伐採、土砂撤去の実施

②堤防管理

堤防の除草

堤防の点検(状態の把握)

堤防の補修を実施

③施設管理

施設の点検

ゲート交換

⑤空間管理

地域住民連携によるゴミ拾い

④流水管理

平常時巡視

水質事故対応

外来種の駆除

■事業の概要

嘉瀬川ダムは、有明海から30km上流、「緑と清流と温泉の町・富士町」に建設されたダムであり、周辺には北山ダムや桧原湿原といった自然環境資源を有しており、多種多様な動植物が見られます。

ダム湖は、湖面を利用したボート競技等の開催や、湿性地を利用した野外学習など、多様なイベントが年間を通して開催されていますが、段差等が生じ利用しづらい状況となっており、地域のご意見等も踏まえ改善等を図っています。

また、令和6年9月、10月にダム湖(富士しゃくなげ湖)で開催された「2024国スポ(国民スポーツ大会)」では、ローイング(ボート)、カヌースプリント競技が実施され、ダム湖の利活用が盛り上がりを見せています。

水源地域ビジョンの方針である「水恵無限」～水がもたらす恵みを活かしたふるさとづくり～をさらに推進していくため、湖面利用に係る安全施設、基盤整備、環境の保全・活用のための整備を進めます。

■事業の目的

佐賀市の進めるまちづくりの取り組みと連携しながら、ダム湖利用者の安全性の向上、巡視・管理の円滑化を図ります。

■令和7年度の予定

整備後のモニタリング(畑瀬地区、音無地区)



管理用通路

■事業の概要

嘉瀬川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水や都市用水の補給及び発電を目的とする多目的ダムです。

■事業の目的

①洪水調節

(ダム地点の計画高水流量 $2,200\text{m}^3/\text{s}$ の内、 $1,370\text{m}^3/\text{s}$ の調節を行う。当面は、下流の流下能力に合わせて調節する)

②流水の正常な機能の維持(下流河川の流水の正常な機能の維持と増進を図る)

③かんがい用水(国営筑後川下流土地改良事業(佐賀西部地区:4市3町)に対し、最大 $8.84\text{m}^3/\text{s}$ の用水を補給する)

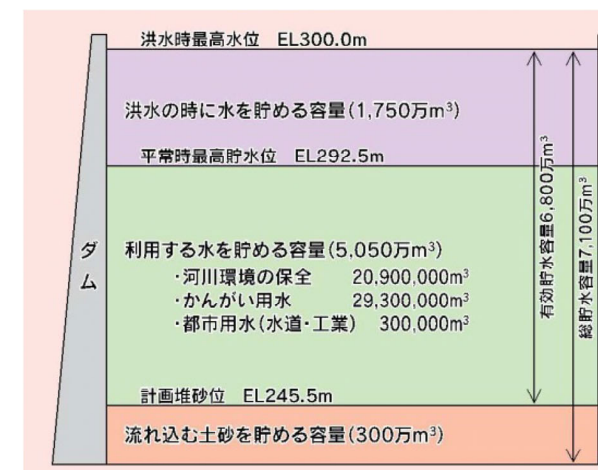
④都市用水(佐賀市に対し、1日最大 $2,000\text{m}^3$ (最大 $0.023\text{m}^3/\text{s}$)の水道用水の取水を可能とする。

また、王子マテリア(株)に対し、1日最大 $3,000\text{m}^3$ の工業用水の取水を可能とする)

⑤発電(嘉瀬川発電所(九州電力(株))において、最大出力 $2,800\text{kw}$ の発電を行う)

■令和7年度の予定

管理設備の点検整備、水文観測、フォローアップ調査(河川水辺の国勢調査等)、流木処理等



◆事業の概要

佐賀導水路は、筑後川、城原川及び嘉瀬川を導水路（管路、開水路）で連絡する流況調整河川（総延長：約23km）で、洪水調節、内水排除、流水の正常な機能の維持（河川維持用水・河川水質浄化用水）および水道用水への補給を目的としています。

◆事業の目的

- ①洪水調節（巨勢川調整池は周辺の家屋などの浸水被害及び巨勢川下流部の洪水被害軽減を図る）
- ②内水排除（導水路に設置する8ヶ所のポンプ施設によって洪水時の内水被害軽減を図る）
- ③流水の正常な機能の維持（嘉瀬川及び城原川の流況改善及び佐賀市内の河川への水質浄化用水の補給）
- ④水道用水の確保（佐賀西部地区5市3町への水道用水の補給）

◆令和7年度の予定

佐賀導水路の施設運用及び管理施設の維持・管理



40年間枯涸していた縫の池



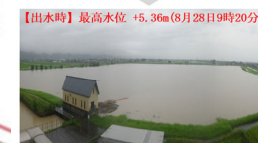
湧水が復活した縫の池

巨勢川調整池の効果（令和元年8月28日洪水）

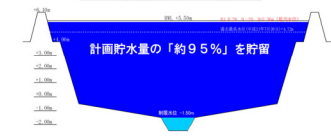
①洪水調節の状況



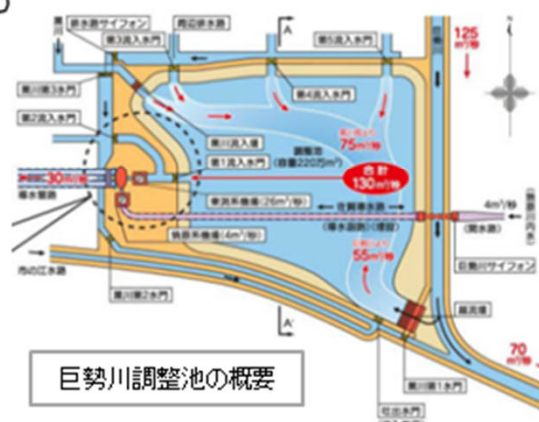
8月28日 一時貯留時の調整池



②巨勢川調整池の一時貯留量



③巨勢川下流(学校橋)地点での効果



◆事業の概要

佐賀導水路は平成21年に完成し、洪水調節・内水被害の軽減排除、不特定用水及び水道用水の補給を目的とした施設です。

近年、特にポンプ施設の不具合が頻繁に発生していることから、出水時において安定的に施設機能が発揮できないおそれがあるため、施設の抜本的改良及び高度化等を実施し、信頼性・効率化等の向上を図り、併せて耐震化対策も実施します。

◆事業の目的

老朽化したポンプ施設の機能アップ（メンテナンス性向上、分散化）や遠隔制御の二重化等を実施し、故障等によるポンプ停止リスクの最小化を図ります。また、耐震化が必要な施設の耐震対策を実施します。

◆令和7年度の予定

ポンプ場施設整備工事、ポンプ場更新設計、耐震対策設計 等

位置図



ポンプ場更新設計



巨勢川ポンプ場(東洲系)

耐震対策設計



筑後川吐出樋管



ガスタービンエンジン (既設)



筑後川吐出樋管

■事業の概要

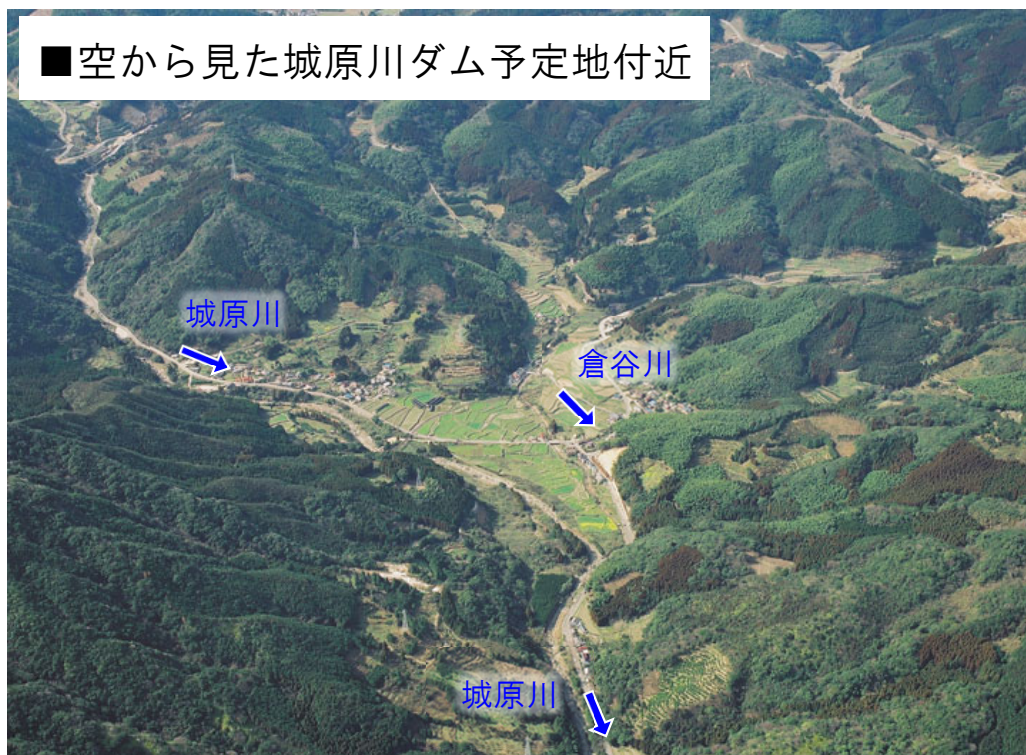
- 1) 概 要：城原川の日出来橋地点において、河川整備基本方針に対応した流量 $690\text{m}^3/\text{s}$ のうち $360\text{m}^3/\text{s}$ の流量低減を図ります。
- 2) 河川名：筑後川水系城原川
- 3) 諸 元：集水面積 約 42.5km^2 洪水調節容量 約 350万m^3

■事業の目的：洪水調節

■令和7年度の予定

本体関連及び付替道路の調査・設計、
用地補償等を実施

■空から見た城原川ダム予定地付近



■城原川流域図

